

ACKグループ

海外事業拡大へ新会社

オリコンサルの部門独立

ACKグループは、海外展開を加速する事業戦



廣谷相談役会長

略の一環として、中核事業会社のオリエンタルコンサルタンツから海外事業部門を分社化した全額出資子会社を2日付で設立した。新会社は「オリエンタルコンサルタンツグローバル」の社名で、

廣谷彰彦相談役会長が社長に就いた。海外分野の事業規模は13年9月期末で受注高約119億円。14年9月期は125億円を越す水準を見込む。10月に始まる新事業年度に向けて新会社の陣

容を整えていく。

オリエンタルコンサルタンツグローバルは資本金4億9000万円、グループの海外事務所や海外現地法人を傘下に置く。海外現法はインドとカタールに設置済みで、インドネシアとミャンマーでも設立準備が進んでいる。

10月以降、ACKグループはオリコンサルが国内公共市場の旗振り役となり、海外市場はオリコ

ンサルグローバルが主導的な役割を果たす体制に移行する。

同社は、2020年に向けた長期経営ビジョンで「連結売上高500億円以上、営業利益率4%以上」などの目標を掲げ

ている。目標達成に向けて4月に3カ年中期経営計画の関連施策を見直し、海外事業の拡大を長期ビジョン、中期計画の両方で重要項目の一つに設定。オリエンタルコンサルタンツの海外部門分社化「が関連施策の見直しに盛り込まれていた。

グローバル人材の確保・育成、コーポレートガバナンス(企業統治)の強化に向けたグループ会計システムの最適化と共通データベースの構築といった施策も推進。基盤を強化して海外事業の拡大につなげていく。